

会長方針

2001-2002 年度会長 **福地祐一**

本年度リチャード・D・キングR I 会長は、「人類が私達の仕事」というテーマを掲げ、これを追求する上でロータリー組織の拡大と強化を最優先課題とされています。

私は、キング会長の方針を尊重して以下のとおり当クラブの活動方針を立て、本年度のクラブ運営を行いたいと思いますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

1. 将来当クラブの中核となるべき会員の増強に取り組む。

10年後・20年後に当クラブが充実した活動を継続し、さらにその活動を発展させるためには絶えず新しい血の導入が必要です。

その意味で、特に若い世代の会員の増強を重点的に取り組みたいと思います。会員の増強に当たっては、昨年同様、会員の皆さん全員が増強委員になったつもりで取り組んで頂きたいと願っています。

2. 会内の良い雰囲気を保ち更に活性化をはかるよう努める。

ここ数年、当クラブでは、歴代会長・幹事の方々のご尽力により、会内で自由な発言が交わされるようになり、会員相互の親睦も深まって大変良い雰囲気になっていると思います。私はこの良い雰囲気を保つために、手続を大事にして、会内合意の形成をはかるとともに、会員相互の親睦の機会を努めて設けたいと思います。

この良好な雰囲気を保っていけば今後更に会内の活動も活性化され、ここ数年続けている100%出席も継続できることでしょう。

3. 創立20周年の準備を行う。

2年後に当クラブは創立20周年の節目を迎えます。

記念事業を企画・立案し、実行に移すために、実行委員会を中心にその準備に当たりたいと思います。

そして創立20周年の記念事業を念頭において、プロバスクラブの設立及び若楠基金の活用を検討したいと考えています。